



● 日本財団ROADプロジェクト「東北地方太平洋沖地震 災害にかかる支援活動助成」

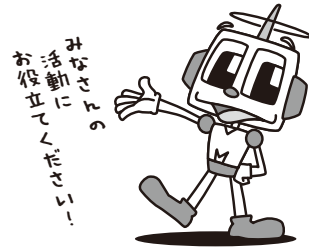
【申込受付期間】平成23年6月30日(木) ※17:00まで
【助成対象】「東北地方太平洋沖地震」による被災者・被災地支援に関わる活動
【助成金額】1件/100万円(上限) ※補助率100%
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】日本財団ROADプロジェクト 災害支援コールセンター

● 花王・コミュニティミュージアム・プログラム 特別募集 ～被災地に文化と笑顔を～

【申込受付期間】平成23年5月31日(火) ※必着
【助成対象】震災で被災された方を応援をする文化・芸術分野の市民活動団体
【助成金額】1件/50万円(上限)
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

● 平成23年度「子育て家庭支援団体に対する助成活動」

【申込受付期間】平成23年5月20日(金) ※消印有効
【助成対象】所定の要件を満たす民間非営利の団体
【助成金額】1件/25万円(上限)
応募方法、その他、詳しくはホームページをご確認ください
【問い合わせ】(社)生命保険協会 子育て家庭支援団体に対する助成活動 事務局

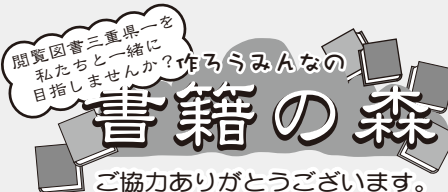


センターからのお知らせ



◎センター休館のお知らせ ▶ 2011年5月3日(火)～5日(木)

※会議室のご予約などは、センターの開館日にお電話ください。



当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】

ご協力ありがとうございます。引き続き書籍の寄贈を募集中です。NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

ちょこつと編集後記

震災支援に乗じて、一部の心ない人たちが引き起こす義援金詐欺などの被害が増えています。こうした事件により善意に疑いの目が向けられ、本当に必要な時に支援が滞ることほど悲しいことはありません。[S]



次号は2011年6月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。

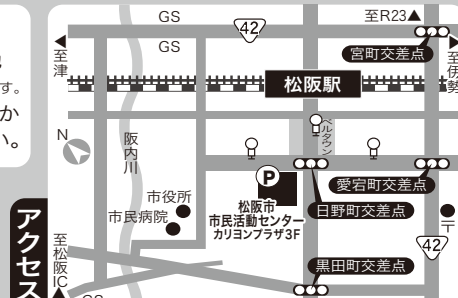
松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801 予約専用 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with columns for '利用' (Usage) and '機材等' (Equipment). Rows include meeting room details (large, small, etc.) and equipment like printers and projectors.

▼ 松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com
▼ 市民活動情報サイト (登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
TEL 0598-25-3801 0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

～アロマ～ No.34



今号は... 富弘美術館を囲む会・三重さんです

花 や草木などの自然をモチーフに描かれたやわらかな水彩画と、絵に添えられる優しい詩。そんな味わい深い作品を世に送り出している星野富弘さんは中学校の教諭時代、クラブ活動の指導中、不慮の事故により手足の自由を失ってしまう。しかしその状況を悲観することなく、手の代わりに口で筆をくわえ、詩画の創作活動を開始。その前向きな姿勢から生み出される作品は多くの人々を魅了しており、星野さんのファンで作られる「富弘美術館を囲む会」は国内外に25の支部がある。今回の取材先「富弘美術館を囲む会・三重」もその1つだ。



伊藤核子さん 北川孝子さん 代表: 小林佳子さん 田上啓子さん

個人的に星野作品を愛好していた仲間が「私たちが星野さんの作品に元気づけられたように、たくさんの人と同じ気持ちを共有できたら」と、2003年5月「星野富弘 花の詩画展」を松阪市文化財センターで開催。県内でも2回目、松阪市では初となる作品展は、5日間で7千人を超える来場者となり大盛況だった。作品展終了後、「せっかく出会えた仲間なのに、このまま解散では寂しいね」という皆の思いが一致し、同年、小林佳子(こばやしよしこ)さんが支部長となり「三重支部」が誕生した。三重支部では現在、20名のメンバーで活動している。

各 地で積極的にPRしているのが、今年4月28日から開催する「星野富弘 花の詩画展」の告知と運営ボランティアの募集だ。2年前から進めてきた準備は、運営面や資金面など苦勞の連続だったそうだ。それでも「より多くの人に気軽に足を運んでもらいたい」という思いから、入場無料(一口500円のカンパ制)となっている。「この作品展を通じて悩みや苦しみに直面した時、あきらめずチャレンジし続ける気力を感じ取ってほしい」と小林さん。また、「当たり前が当たり前」の「有り難さ(ありがたさ)」に気づいてほしい」と思いを語る。自分という存在が当たり前のように「ある」ことを改めて感謝したいと思える言葉だ。小林さんたちの間では障がいも一つの個性だという共通認識があり、それを文化芸術の力で世に伝えたいとの思いがある。今回の作品展を通じ、小林さんたちの思いが、より多くの人に伝わることを願いたい。

三重支部の主な活動の1つに月1回の読書会がある。自分の好きな星野さんの詩を読み、それにまつわる思い出、作品の感想などを意見交換している。メンバーの間では、日々の生活で感じたこと、気づいたことを語りあえる「心の充電の場所」にもなっており、和気あいあいとした時間が流れている。また、昨年8月の「七夕まつり・鈴の音市」では、当センターが行なった「アピール・チャレンジ事業(※1)」にも参加。その時の経験を活かし、地域の催しやイベントで積極的なPR活動を展開している。



七夕まつり・鈴の音市でのPR活動

※1: アピール・チャレンジ事業とは... 昨年8月7日に開催された「七夕まつり・鈴の音市」にて実施した祭出店への助成事業。出店申込みから、当日の運営までを参加者に体験してもらい、今後のPRに活用してもらうことを目的としている。

～星野富弘「花の詩画展」のご案内～

- 日程 2011年4月28日(木)～5月4日(水)
● 時間 9:00～17:00
● 会場 松阪市文化財センター 松阪市外五曲町
● 入場無料 (一口500円のカンパ制)



【富弘美術館を囲む会・三重】に関するお問い合わせは...
TEL & FAX: 0598-86-3939 (代表: 小林さん)



# 東日本大震災復興支援のための義援金募金箱を設置しています

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

3月11日、東日本を襲った「東北地方太平洋沖地震」は未曾有の被害をもたらしました。現在も断続的に余震が続き、被災された方や、復旧活動をされている方々は不安な日々を送っています。

当センターでは一刻も早い被災地の復興を願い、3月14日より義援金の募金箱を設置しています。皆様からお預かりした募金は「みえ災害ボランティア支援センター」・「オルタナ基金」を通じ、被災地支援を行うボランティア活動のために使われます。義援金や物資での被災地支援は、時がたつにつれて意識が薄れてしまいがちです。しかし、本当に支援が必要となるのは、ある程度状況が落ち着きをみせた頃からです。当センターでは、震災への意識が薄れることなく継続した支援が行われることを願い、今後も義援金の募集と被災地支援の情報提供を継続していく考えです。そして、今回の震災を教訓に、今後起こりうる震災に備え、防災への意識を見つめ直していただきたいと思ひます。



## 復興支援情報掲示板を設置しています

みえ災害ボランティア支援センターのほか、県や市など、東日本大震災の復興支援に向けた動きが活発になってきています。こうした支援情報はインターネットを通じて随時更新されています。当センターでは、これらの情報をまとめ、復興支援ブログ、ツイッターなどで情報提供しています。また、パソコンが苦手な方にも同じ情報をご覧頂けるようプリントアウトし、ラウンジ奥の“街の小さな〇〇(まるまる)空間”に随時更新しながら掲示していく予定です。



息の長い被災地支援が必要です。正しい情報を収集し、この地域からできる支援を継続して行いましょう。

※“〇〇空間”のご利用がない場合に限り掲示板を設置いたします。予めご了承ください。

### 【みえ災害ボランティア支援センター】

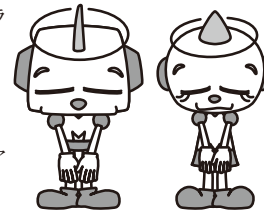
<http://www.v-bosaimie.jp/mvic/index.html>

災害時に県内に設置される官民協働の組織体。災害時のボランティア活動が円滑に行われるよう支援している。

### 【オルタナ基金】

<http://www.alterna.co.jp/4894>

環境とCSRと志のビジネス情報誌「オルタナ」を発行するメディア(所在地:東京)が設立した被災地支援のための基金。



募金送金額は3月31日時点で114,761円でした。皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

## 報告 毎年大好評 リユースパソコン寄贈式開催

3月26日(土)、いせ・松阪・伊賀・津・なばり・四日市 イーパーツ PC寄贈プログラム(主催:認定NPO法人イーパーツ/本拠地:東京)の「リユースパソコン(※1)寄贈式」を開催しました。このプログラムは市民活動団体に対し、企業が使わなくなったパソコンをリユースパソコンとして寄贈し、情報化を支援する取り組みです。今回、新たに四日市なやプラザも参画し、県内に広がりを見せています。当センターの事業としても毎年好評で、今年で5年目を迎えます。松阪地区では7団体の応募があり、選考委員会の厳選なる審査の結果、3団体への寄贈が決まりました。



### 【寄贈団体】

- ・NPO法人CTF松阪
- ・NPO法人チャレンジスクール三重
- ・松阪点訳友の会

また、今回の寄贈式ではセキュリティの必要性を学びながら学べる「セキュリティすごろく」を実施しました。寄贈団体からは「楽しい寄贈式でした」「パソコンが必要な団体さんはたくさんみえます。今後もこの事業を継続してください」と、嬉しいお言葉を頂きました。まだまだ使えるリユースパソコンを今後の活動にお役立てください。

(※1)リユースパソコンとは…買い替えなどで使わなくなったパソコンに、初期化、再インストールを施し、再使用するパソコンのこと。

## 23年度 センター運営委員の皆様をご紹介します。

- (登録番号順).....
- |                     |         |
|---------------------|---------|
| 松阪市自治会連合会           | 長野 操さん  |
| 松阪市商店街連合会           | 宮村 元之さん |
| 嬉野生活ネットピア           | 鈴木 博さん  |
| 松阪木鶏クラブ             | 西山 定さん  |
| そよかせ会               | 角 喜久子さん |
| 伊勢平氏研究会             | 倉田 正義さん |
| 三重県郷土資料刊行会          | 池田たえ子さん |
| 松浦武四郎記念館友の会         | 飯田 秀さん  |
| CB松阪                | 大田 雅仁さん |
| 防災宅急便!もしも…まつさか      | 中村 昭夫さん |
| 松阪市市政戦略部コミュニティ推進課課長 | 松尾 容子さん |

委員の皆様にはセンター運営に関する重要事項(※1)の承認やアドバイスをいただきます。1年間よろしくお願いいたします。

### ※1 センターの運営に関する重要事項って?

- ①利用料金
- ②開館時間
- ③休館日
- ④団体の登録及び取消し等



いつも当センターをご利用いただきありがとうございます。おかげさまで当センターの登録団体数が400団体を超えました。この数は県内の市民活動支援施設では最多となります。改めてこの地域の市民活動の活発さがうかがえます。当センターとしましては現状に甘んじることなく、より多くの人たちが気軽に足をお運びいただけるよう今後も地道なPR活動を継続していく考えです。市民活動団体は、地域課題の解決や、社会的ニーズに適したサービスの提供など、今やなくてはならない存在となっています。この地域のために活動するボランティア、市民活動団体の皆様が便利に活用できる施設でありたいと思ひます。今後とも当センターをよろしくご依頼申し上げます。

### 身近なCSRを探して vol.6

## 地域住民と一緒に取り組む“森づくり”

第1回がボランティア活動のようす。第2回は6月5日を予定しています。

### 東海ゴム工業株式会社 松阪製作所

所在地:松阪市鎌田町

近年、CSRの一環として森林の修復・保全を行う「企業の森」(※)づくりが全国的に広がっています。松阪市に生産拠点を持つ「東海ゴム工業株式会社」でも、昨年からの勢津地区の森林24.4haの保全活動に取り組んでいます。間伐による森林の手入れに重点を置いて活動しており、5年間かけて、スギ・ヒノキなど人工林の間伐を行う計画です。市内では現在4か所に「企業の森」の事例がありますが、東海ゴム工業株式会社の長所は「森を通じた地域との交流」を大切にしているところです。普段の作業は松阪飯南森林組合に委託し、春と秋には社員がボランティアで間伐に参加しています。昨年10月の活動には有志46名が参加。森林組合の指導を受けながら、間伐作業を行いました。また森林の所有者である勢津地区の方々との交流を深めるために、地元の方を交えて、地元産食材を使った昼食会や丸太切り競争などのレクリエーションも企画。他にも間伐材の板を利用した木工作品づくりを行うなど、「間伐材を積極的に利用することが森を守る」ということを体験しながら学べる場を提供しました。地域と企業が「森づくり」という共通の意識を持ち、みんなで汗を流すことは、互いに理解し合える良い機会となっています。

住民の協力で地元木材を使った看板が作られました。

※1:「企業の森」とは…間伐がされず、放置されていく森を守るために、自治体が仲介し、企業がCSRの一環として保全活動を行う制度。近年、全国で広がりを見せており、三重県でも平成17年から企業と森林所有者等のマッチングを推進しています。現在、県内には25の森があります。